



## 日米VCの投資動向と再生医療の産業化

米国調査会社プライスウォーターハウス・コーパース（1995～2011）によると、米国では1995年から2008年まで堅調な投資が行われているが、2008年のリーマンショックの影響で2009年の第1四半期の投資は減少している。しかし、その後2011年にかけて投資は回復してきており、金額的にも年々増加している。この期間の投資対象産業上位5位(投資額)までをみると、2009年度は第1位：バイオテクノロジー、第2位：ソフトウェア、第3位：工業・エネルギー、第4位：医療機器・設備、第5位：メディア・エンタテインメント、2010年度は第1位：ソフトウェア、第2位：バイオテクノロジー、第3位：工業・エネルギー、第4位：医療機器・設備、第5位：ITサービスとなっている。2011年度は2010年度と同じとなっており、2010年度以降米国の経済を牽引するエンジンがはっきり見えてきている。一方、わが国のVCの動向は、VEC調査（2011）によると、依然として低空飛行を続けている。しかし、早晩米国の影響を受けて回復するものと思われる。

ところで、私は、このようなわが国の減速経済を活性化させる産業は医療領域であると考えている。米国VCの投資動向からもこれは重要な領域であることが分かる。とりわけ、わが国は再生医療の技術では世界をリードしており、オープン・イノベーションを基盤にした再生医療の産業化の構想は近未来産業であり、わが国経済成長のためのエンジンであるともいえるのではなかろうか。

再生医療の産業化を考える場合、その基盤となる医療技術に加えて医療機器の開発が重要な要素となる。わが国の医療機器開発は大きくおくれをとっていると言われるが、この問題を解決するためには各々の企業が自前の開発にこだわる従来の企業戦略から、自社の不足技術をアウトソーシングする新しい戦略としての戦略的提携を取り入れる必要がある。つまりクローズド・イノベーション（企業の閉鎖的独自型発展）からオープン・イノベーション（企業の開放型発展）へイノベーションのパラダイム転換が必要なのである。

この再生医療の産業化を成功させるためにはしかるべきビジネスモデルが必要である。これに関し私は既に拙著「オープン・イノベーションと企業の戦略的提携、2012年4月刊行、税務経理協会」で独自のネットワーク型再生医療クラスターのビジネスモデルを考案してある。現在再生医療の研究が進んでいる京都大学、大阪大学、慶應義塾大学などを核とした医療クラスターを作り、再生医療をネットワークとして行う方法は再生医療の産業化を世界的にリードする一つの方法であると考えている。もう一つは、民間に実務的には依存しながらも、安全面、世界の医療動向調査、補助金等の国の国家戦略としての支援が欠かせないだろう。

既に、（株）ジャパン・ティッシュ・エンジニアリングでは「自家培養表皮」、「自家培養軟骨」、「自家培養角膜上皮」の再生医療の事業化が行われており、また、大阪大学では最先端技術のシート工学（細胞シート）を使って重症心不全の患者を社会復帰させた成果も報告されている。そのほか、細胞シートに関する治療では、バイオベンチャーのセルシード、テルモ、東京女子医大での臨床研究などが期待されている。われわれのQOLを高めるために再生医療の産業化が急がれているのである。



米倉 稷  
追手門学院大学 経営学部 教授  
同大学ベンチャービジネス研究所 所長

### 「付加価値は成功の素？」

昔から競合企業との激しい価格・差別化競争において勝つためには、「付加価値を付けろ」ということを、よく耳にします。

どうしたら、何の特徴も無い商品に、「付加価値」を付けることができるのでしょうか？ そのヒントとなる事例を紹介します。

普通のハンバーガーに「付加価値」を付けて、顧客に喜ばれているお店があります。

「Wimpy Braille Burgers」～YouTubeをご参照ください。

～以下は、日本語訳・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

南アフリカで、最も愛されているファーストフード店のひとつであるWIMPYは、WIMPYのすべてのレストランに、点字のメニューがあるということ、視覚障害者の人々に知って欲しかった。

バンズにゴマで点字を書き込んだハンバーガーを作って、目の不自由な人たちのための三大機関に、点字のメニューがあることを届けた。それぞれのハンバーガーには、ゴマで書いたメッセージが込められている。

「あなたのために作った100%ビーフのハンバーガーです」

彼ら（目の不自由な人たちは）点字バーガーを楽しんでくれた。だから、点字のニューズレターで、そのハンバーガーについ

て喜んで語ってくれた。私たちのメッセージは80万人の目の不自由な人々に届いた。

WIMPY 以上・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

YouTubeをご覧になって、感動されましたか？しかし私は「点字のメニューを導入した方がいい」ということを言いたいわけではありません。

顧客を明確にして、顧客のことを知ることが、とても重要だということです。

普通の商品であったとしても、顧客を良く理解することで、顧客を心から喜ばせることができます。

そのためには、顧客の“本当の欲求”を満たすことこそが、顧客が求めている「付加価値」につながります。

次に大事になってくるのは、「USP」(Unique Selling Proposition)を持つことです。

「USP」とは、「ウリとなること」「大義となること」「必要とされること」などです。

その「USP」があるかないかで、事業戦略は大きく変わってくるでしょう。

さて、あなたの「付加価値」を「USP」で表現するとしたら…？

かほり堂 店主 山口俊介

## 「感動の祭典第30回夏季五輪ロンドン大会」

200近くの国・地域が参加し、17日間に及ぶ「感動の祭典ロンドンオリンピック」が幕を閉じた。

日本は26競技のうち13競技でメダルを獲得し、メダル総数38個は史上最多となり、100年目のオリンピックで通算400個のメダル獲得と大健闘の大会でした。

今回の大健闘の内容を整理しますと

- 卓球、バドミントン、サッカーで女子がはじめてのメダル獲得や柔道、レスリングの4人の金メダル、又、バレーボールの28年ぶりのメダル獲得等女子選手の活躍が目立った大会でした。
- 男子もボクシングの48年ぶり、男子体操個人総合28年ぶりの金メダル、サッカーの44年ぶりの準決勝進出、フェンシング団体の初のメダルを獲得等大健闘。
- なでしこサッカー、女子バレー、水泳の男女リレー等団体競技で組織力、チームワークや戦術、分析等で日本の強みを発揮した大会でした。

古くは日本のお家芸として水泳日本、体操日本、柔道日本、卓球日本といわれた時代もありましたが、スポーツに対する国策の差、体力の差、ハングリー精神の差、研究・分析力等世界的に格段のレベルアップが図られている中で、今回の日本選手の幅広い活躍は、大いに賞賛されたものと思います。

久しぶりに日本中に感動を与えた選手達はスタッフ、親、コーチ、同僚、応援者等に感謝するコメントが目立った大会でもありました。

又、「どんなときも諦めずに頑張れば夢はかなう」(小原日登美選手)「金メダルが僕の価値じゃない。これからの人生が僕の価値になる。恥じないように生きていだけ」(村田諒太選手)等勇気づけるコメントも多々ありました。

努力とは「あることを成し遂げる為に、休んだり、怠けたりすることなく力を尽くして励むこと」です。

夢をかなえるために極限まで努力して頂点を目指す、スポーツからは強い組織力、燃える集団作り、人材育成に学ぶものは多く、企業経営にも強烈的な説得力のある大会だったと痛感した次第です。

株式会社オーティス 顧問 山下太一郎

## 次回オリンピック開催はブラジル！

2014年FIFAワールドカップ開催に続き、2016年8月にブラジル・リオデジャネイロで夏季オリンピックが開催されます。飛行機で約25時間もかかる同国についてホームページ等から現状や魅力を探ってみました。

◆ 一口で言うとどんな国……

南米大陸の50%近い面積を占め、同大陸最大の国。豊かな鉱物資源や農産物に恵まれ、石油の自給率100%など資源が豊富。

人口は約2億人で労働力を有しているが経済の基軸はインフレの抑制と高金利政策で為替などのリスクを抱えている。

◆ 国の概況は……

- ・面積は日本の約22倍
- ・人口は世界第5位(2億人近い)
- ・首都はブラジリア(人口204万人)。サンパウロの人口は1040万人、リオデジャネイロは585万人。
- ・GDPは世界第6位(2011年)、従来は成長率3%~5%。
- ・通貨はリアル(BRL)
- ・日本との時差は12時間
- ・主な天然資源は石油、鉄鉱石、ボーキサイト、マンガンなど。
- ・主な農産物はコーヒー、さとうきび、オレンジ、大豆、タバコなど。
- ・主な輸出入相手国はEU、中国、米国。
- ・失業率は5.2%(2011年)。ちなみにスペインの失業率は20.0%、ギリシャ16.4%、フランス9.5%、アメリカ9.1%、日本は4.7%。

・政策金利は9.0%(2012年4月10日現在)

・日系ブラジル人は150万人と言われ、各分野で活躍されている方も多い。

◆ 経済成長に注目……

サッカーでの活躍やリオのカーニバルなどにも見られる「明るく、陽気で、活力」を感じさせる国です。

相次ぐ国家イベントに伴い、成長が期待されていますが親日的と言われるブラジルに注目して行きたいものです。

VECレポーター

## 東日本大震災復興支援活動に頑張っています！

私たちヒール・ザ・ワールドは、「癒し」を軸に東日本大震災の復興支援を行う、ボランティアグループです。一人でも多くの代替医療施術者が被災地に癒しを届けられるように、被災地にはいけないけど応援したい人にも参加してもらえるように、大阪市内各所でチャリティーイベント「癒しフェア」を翌月から始めました。以降毎月第3日曜に、大阪市内各所で実施。その収益で被災地や大阪に避難されている被災者に、出張施術を実施してきました。

東北や大阪だけでなく、さらには日本を元気に、それを世界へ発信する、ということを目指しています。「国境なき医師団」の代替医療版、「国境なき癒し団」になりたいと考えています。

震災から1年数ヶ月が経ち、被災地の状況やニーズが変化してきたことから、今後は復興支援のあり方を模索し、7月1日から2日に宮城を訪問しました。

そこで一様に足りていないものは、「被災者のニーズ情報」であることがわかりました。それとボランティア側の「お手伝いしたい気持ち(シーズ)」が正しくマッチングすれば、最も喜んでもらえる支援となり、ボランティアの満足感も高まると思います。各被災地だけの情報に頼るのではなく、広い範囲で情報を集め、良い形でマッチングし、各被災地に情報やサービス、支援をお届けしたいと考えています。被災地からのニーズ情報をお持ちの方、被災地で活動を希望される方、私たちと一緒に頑張ってくれる方を、自薦他薦問わず広く募集したいと思います。ご協力、宜しくお願い致します！

記・SHANTI島中 恵美

ヒール・ザ・ワールド連絡先

TEL: 06-6458-5814

メールアドレス: hisaichi.niiyashi@gmail.com

ウェブサイト: <http://ameblo.jp/hisaichi-niiyashi/>

### ~VEC関西より~

◆ お盆も終わり、秋風を期待していますが、猛暑は続き涼しい夕立も少ないように感じます。心なしか蝉があまり鳴かないような気がします。7年もの長い間、土の中にいる筈ですが、暑いと生まれてこないのでしょうか？気候の変わり目はご健康にお気をつけてください。(本田)

♥ (株)オーティスの山下さんの原稿でもございましたがこの夏、テレビの前で釘づけになったのはやはり、ロンドンオリンピックでした。ウトウトしながらも晩遅くまで起き、特に日本選手がメダルをかけた試合は「感動」の一言でした。振り返れば短かった17日間でしたが終わると一つの楽しみが無くなり自身認めたくありませんが「オリンピック燃えつき症候群」では?と思っております。(濱本)

◆ 米倉教授から初めてご寄稿頂き、医療領域の投資必要性を論説されておられます。かほり堂山口店主からはUSPの重要性、山下氏からはオリンピックからの視点、島中氏からは東日本大震災へのサポート活動について熱いメッセージを頂きました。(澤村)

◆ <交流会の予定>

平成24年10月3日(水) 商縁プラザ理事 進藤 幸男 様

☎: 06-6263-0366

皆様からのご意見・ご要望お待ちしております！